

ぶんすいれい
吉野川の分水嶺を歩く！



旭ヶ丸から見た大川原高原の風力発電

あけましておめでとうございます。
山登り好きの「岳」です。
今年もよろしくお祈りします。

山好きな私が吉野川の分水嶺を歩きながら、読者の皆様に吉野川流域の山々の素晴らしさと現状を紹介したいと思います。

第8回は、剣山スーパー林道沿いの雲早山から佐那河内村の旭ヶ丸を經由して徳島市津田町までを紹介します。

12月9日は雲早山から旭ヶ丸まで歩きました。

剣山スーパー林道は12月1日からは冬季全面通行止めのため、神山町の野間殿川内林道の柴小屋山登山口付近に車を止め、雪の積もった剣山スーパー林道を1時間ほど歩き雲早山登山口に到着しました。



雲早山山頂



雪で覆われた雲早山への登山道を登り、20年ぶりの雲早山山頂に到着しましたが、生憎の曇りで風が強く、綺麗な景色が見えず残念でした。山頂を後にしてしばらく分水嶺を歩くと青空になり、樹木には霧氷が付き綺麗でした。また、西側には高城山が見えました。

その後、剣山スーパー林道沿いの分水嶺を歩いて、柴小屋山を経由し旭ヶ丸に向かいました。柴小屋山から旭ヶ丸への約10kmの道のりは四国のみち「柴小屋・旭ヶ丸分水嶺のみちコース」を通して向かいました。この四国のみちは整備され途中に休憩所もあり快適なハイキングが出来ます。

この日の目的地の旭ヶ丸は、佐那河内村にある大川原高原の西側にあります。

また、大川原高原には集合型風力発電所の大川原ウインドファームがあり、高さ60mの風車15基が設置され、19,500kW（1,300kW×15基）の四国では最大規模の風力発電所です。天気の良い日は、徳島市内からも風車が見えます。7月にはアジサイが高原を青く染めるようです。



霧氷



剣山スーパー林道沿いの尾根から見た高城山



柴小屋山山頂



四国のみち



四国のみち



天ヶ滝 休憩所



旭ヶ丸と高鉾山



旭ヶ丸山頂

1月6日は旭ヶ丸から中津峰山に寄り道して、県道33号の佐那河内村と徳島市の境まで歩きました。

早朝、日の出を見ようと旭ヶ丸に登りましたが、この日も生憎の曇りで日の出は見られませんでした。雪化粧の大川原高原と風車の景色はとても綺麗でした。

途中、分水嶺を外れ、中津峰山に登りました。中津峰山は、剣山連峰の一ノ森から東方に連なる主山稜の最東部にあたり、阿波三峰の一つに数えられ、海の守護神として信仰されています。



雪化粧の大川原高原と風車



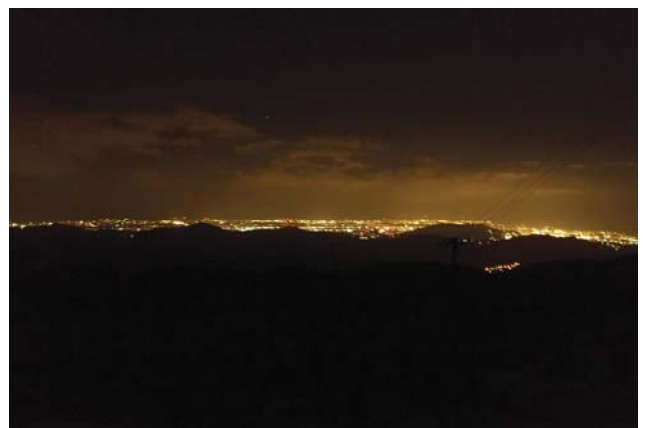
四国のみち



雪の中を歩く岳



中津峰山山頂



大川原高原から見た徳島市の夜景

1月13日は、県道33号の佐那河内村と徳島市の境から弁天山に寄り道して津田町まで歩きました。

徳島市八多町大久保の山中はイノシシの樂園と言わんばかりの足跡や土を掘り起こした後が沢山あり、イノシシの威嚇の鳴き声が出たと思うと隣の尾根をドスンと軽快に走り去っていくイノシシがいました。びくびくしながらの登山となりました。

丈六町から山中を抜け、勝浦川の堤防を歩きました。

皆さんご存じですか？徳島市に日本一の山があります。それは方上町にある弁天山です。標高6.1mと自然の山では日本一低い山です。

弁天山を後にして、夕暮れの中、勝浦川の堤防を歩き、吉野川分水嶺南側の最東部の津田町に到着しました。



県道33号佐那河内村と徳島市との境



イノシシの足跡と水場？



勝浦川と津田山



日本一低い山 弁天山



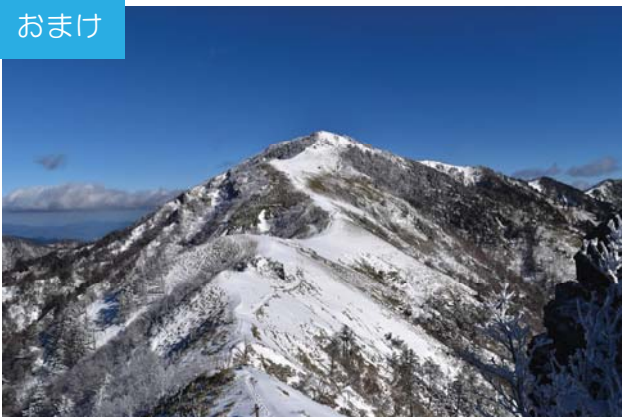
徳島市内から見た大川原高原方面

◇今回歩いた距離 87.7km

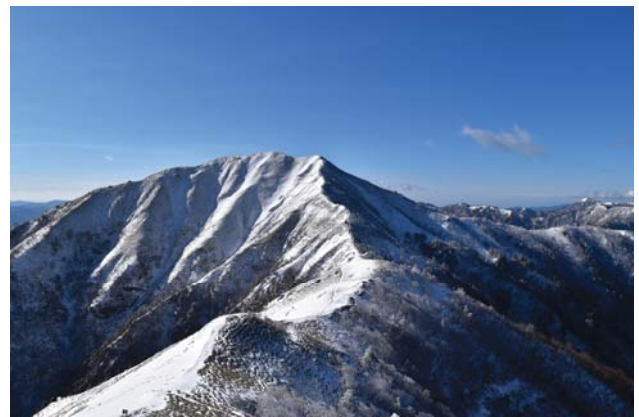
◇今回歩いた分水嶺の距離 44.4km 今まで歩いた距離 178.4km／全長約 402km

◇分水嶺制覇まで、残り約 224km

おまけ



雪化粧の剣山



雪化粧の次郎笈